

令和5年度JAいわみざわ地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

(1) 地域の作物作付の現状

当地域の耕地面積は18,000haで、うち水田面積は15,018haと耕地面積の約83%を占めている。地域のほぼ中央を縦断する北海道縦貫自動車道以北は坦々とした平地が広がり、豊富な水資源を利用した稲作の主産地を形成し、自動車道以南は丘陵地から山林地帯へと広がり、水稻及び畑作・果樹の複合経営を展開している。令和4年度の転作面積11,238ha（転作率75%）のうち麦・大豆・飼料作物・てん菜・加工用米・新規需要米が86%を占めている一方、花卉・野菜は8%にとどまり、その他は雑穀・地力作物等となっている。

(2) 地域が抱える課題

農地の集積は着々と進み、地域計画で地域の合意形成により示された担い手は明確になっている。一方、高齢化・後継者不足により、農家戸数は年々減少の一途をたどっており、特に10ha未満の農家戸数の減少が著しい。大型化した経営体については、労働力不足が顕著になることや野菜については作付中止が懸念され、水田機能維持と併せた輪作体系、作期競合回避技術、野菜産地の生産体制づくりが喫緊の課題となっている。また、異常気象による冷災害の克服、排水不良による湿害対策等地域の实情に合わせて生産基盤である農地の整備が求められている。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当地域において収益性の高い水田農業経営への転換を図るため、産地交付金を活用しながら、主食用米と比較して面積当たりの所得が高い野菜等の高収益作物や、時間当たりの所得が高い子実用とうもろこしの作付拡大を図っているが、水田作に占める同作物の作付率は約8%と低い状況となっている。

今後、水田をフル活用しながら、多様なニーズに対応した競争力のある農産物の計画的かつ安定的な生産・供給が可能な産地づくりを一層進め、収益性の高い水田農業経営への転換を図るため、当地域においては、「水田農業高収益化推進計画の策定について（令和2年4月1日付け元生産第2167号・元農振第3757号・元政統第2085号農林水産省生産局長・農村振興局長・政策統括官連名通知）」に基づく推進計画の策定を進めるとともに、関係機関・団体等が連携して推進体制を構築し、規模拡大に対応する集荷施設の整備や基盤整備による排水対策を進めつつ、高収益作物や子実用とうもろこしの導入などを推進する。

高収益作物の導入にあたっては、需要が増加している野菜の安定生産や、消費者のニーズに対応した多様な品目の作付、高品質で安定した生産による産地ブランド力の向上、地域に適応した品種の選定・普及及び栽培技術の改善、スマート農業等の省力・低コスト生産技術の導入、出荷期間・販売地域の拡大などの取組を通じて、特色ある産地づくりや、収益力の向上による経営の安定化を進める。

子実用とうもろこしについては、畜産農家との連携を基本に需要に応じた作付を進めるとともに、輪作作物としての活用を通じて生産性の向上を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田転作の助成金に依存した経営が多い中で、転作作物については、高品質化、収量増加、低コスト化が求められており、そのためには、大区画化や用排水分離などの圃場条件の整備を進め生産力を高めていくことが重要となっている。

当地域では、田畑輪換方式の特性を活かし、空知型輪作による作付けのローテーションを促し、水田利用時の湛水による土壌病害虫発生の軽減や雑草発生の抑制、また、土壌物理性改善効果によって水稲と転作作物の双方の生産力を高めるための取組を推進する。

一方で、畑地化の取組を進めるにあたっては、「地域計画」により描かれた地域の将来像や、担い手の農業経営改善計画など、効率的な土地利用に配慮する。また、地域の実情に応じた作物の本作化や計画的な農地の集積・集約化を図ろうとする場合などには、畑地化の取組を進めることができるよう、関係機関・団体等の連携のもと、畑地化への支援内容や基盤整備等に関する情報提供・助言を行う。

4 作物ごとの取組方針等

地域内で約15,018haの水田を擁する当地域が将来にわたって米主産地として生き残るためには、農地中間管理事業を活用し農地集積により大規模化を進め、水張り面積を確保すると共に用途別生産・販売の強化に取り組み、売れる米作りをより強力で推進する必要がある。一方、産地交付金を有効に活用してJAブランドでもある玉葱を基幹作物とし、国内自給率向上に資する麦・大豆の品質向上を図ると共に白菜・南瓜・キャベツ・長葱・人参・花卉・胡瓜・メロン・いちごの生産の維持・拡大を図る。

(1) 主食用米

米の消費減少が進み、ますます産地間競争が激化する中で水張り面積を確保するため、消費者・実需者を買ってもらえる米作りと販売力強化が重要になっているが、消費者のニーズは多様であり、ニーズに合った米を均一な一定のロットで確保する。また、一定の栽培基準を設けたこだわり米についても作付けを拡大し、クリーン農業のイメージ強化と共に差別化を推進する。

(2) 備蓄米

水張り確保のため令和5年を目途に一定程度の面積を確保する。

(3) 非主食用米

ア・イ・エ・オ 飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米

主食用米の需要減少が見込まれる中、需要の拡大が見込まれる飼料用米・加工用米の生産拡大を進める。収量・安定性に乏しい飼料用米等は、直播などコスト削減を図りつつ、国からの産地交付金を最大限活用して令和6年度に一定程度の面積を確保する。

ウ 新市場開拓用米

主食用米の国内需要減少する中、内外のコメの新市場の開拓を図り米穀の作付に取組み、水張り確保のため令和6年度に一定程度の面積を確保する。

(4) 麦、大豆、飼料作物（子実コーンを含む）

農地集積が進んだ現状に於いても主要な転作作物としての位置づけは変わらず、今後もこれら作物の品質の一層の向上を図る。麦については、連作障害と春小麦の生産性が課題となるため、米を含めた輪作体系の確立と技術が確立されつつある春小麦の初冬播きの拡大により、生産性の安定化に努める。

(5) そば、なたね

麦・大豆の作付けが不向きな道央道以東の区域では、そばが転作作物の重要な位置づけとなっている。暗渠排水等土壌改良を進めながら、作付面積を維持する。また、なたねについては、輪作体系の一環として作付面積を確保する。

(6) 地力増進作物

空知管内は酪農・肉牛農家の割合が低く、堆肥入手が困難である上に作業機械を所有している割合も低い。そのため、土作りに必須な有機物の導入を地力増進作物（イネ科、アブラナ科、キク科、マメ科の地力増進作物として、えん麦、えん麦野生種、ソルガム、緑肥デントコーン、シロカラシ、チャガラシ、ひまわり、緑肥用大豆、ヘアリーベッチ、アカクローバー、クリムソンクローバ）によって行い、土壌物理性の改善により、高収益作物等の収量・品質の安定に努める。

(7) 高収益作物（園芸作物等）

米と共にJAいわみざわの基幹作物である玉葱は、品質と収量の向上を目指し、輪作体系による地力の改善・透排水性改善によりブランドの再構築を図る。また、JAの振興作物である白菜・南瓜・キャベツ・長葱・人参・花卉・胡瓜・メロン・いちごは、地域性・経営面積・労働力等各品目の利点を活かした作付推進で産地化に努める。その他の野菜、花卉・花木、果樹、トウキ等においても生産者所得向上に向けて作付推進を図る。

5 作物ごとの作付け予定面積等

	作物等	前年度の作付面積		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		(ha)	うち 二毛作	(ha)	うち 二毛作	(ha)	うち 二毛作
1	主食用米	3,779.9		4,080.0		4,300.0	
7	備蓄米	0.0		0.0		0.0	
2	飼料用米	1,350.6		1,235.0		1,300.0	
3	米粉用米	0.2		0.2		0.2	
4	新市場開拓米	89.7		85.0		85.0	
5	WCS用稲	63.7		160.0		160.0	
6	加工用米	561.5		340.0		340.0	
8	小麦	4,810.2		4,700.0		4,500.0	
9	大豆	2,098.4		2,000.0		1,900.0	
10	飼料作物(牧草)	265.0		260.0		260.0	
11	子実用とうもろこし	231.0		241.0		190.0	
12	そば	158.1	28.2	158.0	28.0	158.0	28.0
13	なたね	116.3		116.0		116.0	
	地力増進作物	346.1	103.2	350.0	103.0	350.0	100.0
	高収益作物	(979.2)		(985.0)		(985.0)	
14	白菜	98.0	35.8	100.0	35.0	100.0	35.0
15	南瓜	127.4		130.0		130.0	
16	キャベツ	18.5	1.3	20.0	2.0	20.0	2.0
17	長葱	16.7		15.0		15.0	
18	人参	15.6		15.0		15.0	
19	胡瓜	3.4		3.5		3.5	
20	いちご	1.8		2.0		2.0	
21	メロン	4.5		4.5		4.5	
22	花卉	35.7		35.0		35.0	
23	たまねぎ	553.8		560.0		560.0	
26	その他の高収益作物	103.8		100.0		100.0	
27	その他	336.7		213.0		228.0	
24	てん菜	168.6		150.0		150.0	
25	小豆	34.8		40.0		40.0	
	その他	133.3		23.0		38.0	
	畑地化	0.5		311.7		311.7	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使 途 名	目 標	前 年 度 (実 績)		目 標 値	
1	秋小麦 春小麦 大豆	空知型輪作体系確立 加算 (前作: 水稲)	作付面積	(令和4年度)	6,908.6 ha	(令和5年度)	6,500.0 ha
			単収 秋小麦	(令和4年度)	447 kg/10a	(令和5年度)	550 kg/10a
			単収 春小麦	(令和4年度)	290 kg/10a	(令和5年度)	415 kg/10a
			単収 大豆	(令和4年度)	283 kg/10a	(令和5年度)	310 kg/10a
2	春小麦	春小麦の初冬播き栽培 加算	作付面積	(令和4年度)	1,248.8 ha	(令和5年度)	1,240.0 ha
			単収	(令和4年度)	290 kg/10a	(令和5年度)	415 kg/10a
3	秋小麦	水稲間作麦輪作加算	作付面積	(令和4年度)	3,561.4 ha	(令和5年度)	3,410.0 ha
			単収	(令和4年度)	447 kg/10a	(令和5年度)	550 kg/10a
4	秋小麦	大豆間作麦輪作加算	作付面積	(令和4年度)	3,561.4 ha	(令和5年度)	3,410.0 ha
			単収	(令和4年度)	447 kg/10a	(令和5年度)	550 kg/10a
5	大豆	大豆狭畦栽培推進加 算	作付面積	(令和4年度)	2,098.4 ha	(令和5年度)	1,910.0 ha
			単収	(令和4年度)	283 kg/10a	(令和5年度)	310 kg/10a
6	産地交付金の交付 対象としている 作物 (但し、 小麦・新規需要 米・加工用米・ 地力増進作物を 除く)	小麦輪作推進加算 (前作: 小麦)	作付面積	(令和4年度)	2,098.4 ha	(令和5年度)	1,910.0 ha
			単収 代表的な作物 大豆	(令和4年度)	283 kg/10a	(令和5年度)	310 kg/10a
7	産地交付金の交付 対象としている 作物 (但し、 大豆・新規需要 米・加工用米・ 地力増進作物を 除く)	大豆輪作推進加算 (前作: 大豆)	作付面積	(令和4年度)	4,810.2 ha	(令和5年度)	4,470.0 ha
			単収 代表的な作物 秋小麦	(令和4年度)	447 kg/10a	(令和5年度)	550 kg/10a
			春小麦	(令和4年度)	290 kg/10a	(令和5年度)	415 kg/10a
8	玉 葱	重点基幹作物助成 (玉葱)	作付面積	(令和4年度)	553.8 ha	(令和5年度)	615.0 ha
9	二毛作のみ 輪作体系確立作物 (玉葱後作緑肥: 二毛作)	土地地力増進作物推 進助成 (玉葱後作緑 肥: 二毛作)	作付面積	(令和4年度)	103.2 ha	(令和5年度)	164.0 ha
10	子実用デントコーン	輪作体系確立作物推 進助成 (子実用デントコーン)	作付面積	(令和4年度)	231.0 ha	(令和5年度)	231.0 ha
			単収	(令和4年度)	695 kg/10a	(令和5年度)	900 kg/10a
11	デントコーンサイレージ	輪作体系確立作物推 進助成 (デントコーンサイレージ)	作付面積	(令和4年度)	9.5 ha	(令和5年度)	37.0 ha
			単収	(令和4年度)	2,130 kg/10a	(令和5年度)	3,815 kg/10a
12	二毛作のみ 麦後白菜 麦後キャベツ	地域振興作物助成 (小麦後白菜 小麦後キャベツ : 二毛作)	作付面積	(令和4年度)	37.1 ha	(令和5年度)	70.0 ha
13	秋小麦	単収実績加算 (秋小麦) ランク1	作付面積	(令和4年度)	3,561.4 ha	(令和5年度)	3,300.0 ha
			単収(ランク1)	(令和4年度)	561 kg/10a	(令和5年度)	605 kg/10a
			生産者数割合	(令和4年度)	39.0 %	(令和5年度)	95.0 %
14	秋小麦	単収実績加算 (秋小麦) ランク2	作付面積	(令和4年度)	3,561.4 ha	(令和5年度)	3,300.0 ha
			単収(ランク2)	(令和4年度)	407 kg/10a	(令和5年度)	440 kg/10a
			生産者数割合	(令和4年度)	52.0 %	(令和5年度)	4.0 %
15	秋小麦	単収実績加算 (秋小麦) ランク3	作付面積	(令和4年度)	3,561.4 ha	(令和5年度)	3,300.0 ha
			単収(ランク3)	(令和4年度)	252 kg/10a	(令和5年度)	300 kg/10a
			生産者数割合	(令和4年度)	9.0 %	(令和5年度)	1.0 %
16	春小麦	単収実績加算 (春小麦) ランク1	作付面積	(令和4年度)	1,248.8 ha	(令和5年度)	1,240.0 ha
			単収(ランク1)	(令和4年度)	389 kg/10a	(令和5年度)	455 kg/10a
			生産者数割合	(令和4年度)	66.0 %	(令和5年度)	92.0 %
17	春小麦	単収実績加算 (春小麦) ランク2	作付面積	(令和4年度)	1,248.8 ha	(令和5年度)	1,240.0 ha
			単収(ランク2)	(令和4年度)	271 kg/10a	(令和5年度)	305 kg/10a
			生産者数割合	(令和4年度)	13.0 %	(令和5年度)	8.0 %
18	春小麦	単収実績加算 (春小麦) ランク3	作付面積	(令和4年度)	1,248.8 ha	(令和5年度)	1,240.0 ha
			単収(ランク3)	(令和4年度)	224 kg/10a	(令和5年度)	250 kg/10a
			生産者数割合	(令和4年度)	21.0 %	(令和5年度)	0.0 %

整理番号	対象作物	使 途 名	目 標	前 年 度 (実 績)		目 標 値	
19	大豆	単収実績加算 (大豆) ランク1	作付面積 単収(ランク1) 生産者数割合	(令和4年度) 2,098.4 ha (令和4年度) 319 kg/10a (令和4年度) 64.0 %	(令和5年度) 1,930.0 ha (令和5年度) 325 kg/10a (令和5年度) 95.0 %		
20	大豆	単収実績加算 (大豆) ランク2	作付面積 単収(ランク2) 生産者数割合	(令和4年度) 2,098.4 ha (令和4年度) 248 kg/10a (令和4年度) 33.0 %	(令和5年度) 1,930.0 ha (令和5年度) 270 kg/10a (令和5年度) 4.0 %		
21	大豆	単収実績加算 (大豆) ランク3	作付面積 単収(ランク3) 生産者数割合	(令和4年度) 2,098.4 ha (令和4年度) 156 kg/10a (令和4年度) 3.0 %	(令和5年度) 1,930.0 ha (令和5年度) 170 kg/10a (令和5年度) 1.0 %		
22	地力増進作物 (えん麦・緑肥 用大豆・苜蓿)	圃場整備後の作物安 定化助成(えん麦 等)	作付面積	(令和4年度) 138.4 ha	(令和5年度) 50.0 ha		
23	地力増進作物 (緑肥ひまわり・緑肥デント ン)	圃場整備後の作物安 定化助成(緑肥ひま わり・緑肥デント ン)	作付面積	(令和4年度) 26.2 ha	(令和5年度) 77.0 ha		
24	麦・豆類・そ ば・なたね・ てん菜・野 菜・花卉	土づくりによる収益 力向上対策加算助成	作付面積 単収 代表的な作物 大豆	(令和4年度) 2,098.4 ha (令和4年度) 283 kg/10a	(令和5年度) 1,945.0 ha (令和5年度) 310 kg/10a		
25	地力増進作物	圃場整備促進加算	作付面積	(令和4年度) 0.7 ha	(令和5年度) 395.0 ha		
26	飼料作物	飼料作物団地化加算	作付面積 団地化率	(令和4年度) 275.7 ha (令和4年度) 55.6 %	(令和5年度) 501.0 ha (令和5年度) 57.0 %		
27	飼料用米 わら専用稲	耕畜連携 (わら利用助成)	作付面積 取組面積	(令和4年度) 1,350.6 ha (令和4年度) 222.8 ha	(令和5年度) 682.0 ha (令和5年度) 73.0 ha		
28	飼料作物	耕畜連携 (水田放牧助成)	作付面積 取組面積	(令和4年度) 223.7 ha (令和4年度) 0.0 ha	(令和5年度) 501.0 ha (令和5年度) 2.0 ha		
29	飼料作物 WGS用稲	耕畜連携 (資源循環助成)	作付面積 取組面積	(令和4年度) 287.4 ha (令和4年度) 82.4 ha	(令和5年度) 400.0 ha (令和5年度) 106.0 ha		
30	そば (二毛作)	地域重点作物推進加算 (そば二毛作)	作付面積	(令和4年度) 28.2 ha	(令和5年度) 45.0 ha		
31	そば なたね	地域重点作物推進助 成	作付面積 単収 そば 単収 なたね	(令和4年度) 246.0 ha (令和4年度) 75.0 kg/10a (令和4年度) 417.0 kg/10a	(令和5年度) 350.0 ha (令和5年度) 70.0 kg/10a (令和5年度) 410.0 kg/10a		
32	小豆	地域重点作物推進助 成(小豆)	作付面積 単収	(令和4年度) 34.8 ha (令和4年度) 209 kg/10a	(令和5年度) 53.0 ha (令和5年度) 250 kg/10a		
33	てん菜	地域重点作物推進助 成(てん菜)	作付面積 単収	(令和4年度) 168.6 ha (令和4年度) 7,453 kg/10a	(令和5年度) 200.0 ha (令和5年度) 7,620 kg/10a		
34	自給飼料更新作物 別荘で定める飼料作 物優良品種の作付を 行ったもの	自給飼料更新作物助 成	作付面積 単収	(令和4年度) 110.0 ha (令和4年度) 3,046 kg/10a	(令和5年度) 495.0 ha (令和5年度) 3,900 kg/10a		
35	(露地栽培) 白菜・南瓜・ キャベツ・長 葱・人参・胡 瓜・いちご・メ ロン・花卉	地域振興作物助成 (露地推進)	作付面積 取組面積	(令和4年度) 283.8 ha (令和4年度) 233.2 ha	(令和5年度) 360.0 ha (令和5年度) 288.0 ha		
36	(トンネル栽培) 白菜・南瓜・ キャベツ・長 葱・人参・胡 瓜・いちご・メ ロン・花卉	地域振興作物助成 (トンネル推進)	作付面積 取組面積	(令和4年度) 283.8 ha (令和4年度) 18.7 ha	(令和5年度) 360.0 ha (令和5年度) 29.0 ha		

整理番号	対象作物	使 途 名	目 標	前 年 度 (実 績)		目 標 値	
37	(ハウス栽培) 白菜・南瓜・ キャベツ・長 葱・人参・胡 瓜・いちご・メ ロン・花卉	地域振興作物助成 (ハウス推進)	作付面積	(令和4年度)	283.8 ha	(令和5年度)	360.0 ha
			取組面積	(令和4年度)	31.9 ha	(令和5年度)	43.0 ha
38	(露地栽培) 別紙3-1で定め る作物	基幹作物助成 (露地推進)	作付面積	(令和4年度)	94.1 ha	(令和5年度)	102.0 ha
			取組面積	(令和4年度)	75.0 ha	(令和5年度)	79.5 ha
39	(トンネル栽培) 別紙3-1で定め る作物	基幹作物助成 (トンネル推進)	作付面積	(令和4年度)	94.1 ha	(令和5年度)	102.0 ha
			取組面積	(令和4年度)	9.2 ha	(令和5年度)	10.5 ha
40	(ハウス栽培) 別紙3-1で定め る作物	基幹作物助成 (ハウス推進)	作付面積	(令和4年度)	94.1 ha	(令和5年度)	102.0 ha
			取組面積	(令和4年度)	9.9 ha	(令和5年度)	12.0 ha
41	そば なたね	地域重点作物推進加算 (そば・なたね)	作付面積	(令和4年度)	246.0 ha	(令和5年度)	310.0 ha
42	新市場開拓用米	新市場開拓用米	作付面積	(令和4年度)	67.7 ha	(令和5年度)	50.0 ha
43	新市場開拓用米	新市場開拓用米の複数年 契約加算(新規契約)	作付面積	(令和4年度)	89.7 ha	(令和7年度)	55.0 ha
			取組面積	(令和4年度)	31.7 ha	(令和7年度)	5.0 ha
44	地力増進作物 (は科・ア科・サ 科・マ科)	地力増進作物の作付 (有機栽培や高収益作物等 への転換に向けた工作り)	作付面積	(令和4年度)	241.3 ha	(令和6年度)	395.0 ha
			取組面積	(令和4年度)	28.1 ha	(令和6年度)	3.0 ha

必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：北海道

協議会名：JAいわみざわ地域農業振興センター

整理番号	用途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	空知型輪作体系確立加算(前作：水稲)	1	1,634	秋小麦・春小麦・大豆	水稲(前作)との輪作体系取組
2	春小麦の初冬播き栽培加算	1	1,634	春小麦	初冬播きの取組
3	水稲間作麦輪作加算	1	1,634	秋小麦	前作(水稲)の立毛中に播種実施
4	大豆間作麦輪作加算	1	1,634	秋小麦	前作(大豆)の立毛中に播種実施
5	大豆狭畦栽培推進加算	1	1,634	大豆	畦幅を概ね30cm程度
6	小麦輪作推進加算(前作：小麦)	1	817	産地交付金の交付対象としている作物 (ただし、小麦・新規需要米・加工用米・地力増進作物除く)	小麦(前作)との輪作取組
7	大豆輪作推進加算(前作：大豆)	1	817	産地交付金の交付対象としている作物 (ただし、大豆・新規需要米・加工用米・地力増進作物除く)	大豆(前作)との輪作取組
8	重点基幹作物助成(玉葱)	1	38,415	玉葱	作付面積に応じて支援
9	土地力増進作物推進助成 (玉葱後作緑肥：二毛作)	2	4,086	玉葱後作緑肥	作付面積に応じて支援。鋤込み実施。
10	輪作体系確立作物推進助成 (子実デントコーン)	1	24,520	子実デントコーン	作付面積に応じて支援。適切な防除等。
11	輪作体系確立作物推進助成 (デントコーンサイレージ)	1	8,173	デントコーンサイレージ	作付面積に応じて支援。適切な防除等。
12	地域振興作物助成 (小麦後作白菜・キャベツ：二毛作)	2	16,347	麦後白菜・麦後キャベツ	作付面積に応じて支援
13	単収実績加算(秋小麦)ランク1	1	1,634	秋小麦	単収500kg以上に対して支援
14	単収実績加算(秋小麦)ランク2	1	1,307	秋小麦	単収300kg以上500kg未満に対して支援
15	単収実績加算(秋小麦)ランク3	1	980	秋小麦	単収190kg以上300kg未満に対して支援
16	単収実績加算(春小麦)ランク1	1	1,634	春小麦	単収300kg以上に対して支援
17	単収実績加算(春小麦)ランク2	1	1,307	春小麦	単収250kg以上300kg未満に対して支援
18	単収実績加算(春小麦)ランク3	1	980	春小麦	単収190kg以上250kg未満に対して支援
19	単収実績加算(大豆)ランク1	1	1,634	大豆	単収280kg以上に対して支援
20	単収実績加算(大豆)ランク2	1	1,307	大豆	単収180kg以上280kg未満に対して支援
21	単収実績加算(大豆)ランク3	1	980	大豆	単収130kg以上180kg未満に対して支援
22	圃場整備後の作物安定化助成(えん麦等)	1	20,433	地力増進作物(えん麦・緑肥大豆・カブ)	圃場整備後、作付後鋤き込みに対して支援
23	圃場整備後の作物安定化助成 (緑肥ひまわり・緑肥デントコーン)	1	24,520	地力増進作物(緑肥ひまわり・緑肥デントコーン)	圃場整備後、作付後鋤き込みに対して支援
24	土づくりによる収益力向上対策加算助成	1	4,086	麦・豆類・そば・なたね・てん菜・野菜・花卉	地力増進作物(前作)との輪作体系取組
25	圃場整備促進加算	1	8,173	地力増進作物(えん麦・緑肥用大豆・カブ、緑肥ひまわり、アカアザミ、緑肥デントコーン等)	暗渠・圃場整備を実施した圃場が該当年に収穫物が無い場合で、地力増進作物を作付し鋤込みを行った場合に支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：北海道

協議会名：JAいわみざわ地域農業振興センター

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
26	飼料作物団地化加算	1	4,086	飼料作物	飼料作物を作付し、団地化要件を満たす場合に支援
27	耕畜連携（わら利用助成）	3	10,625	飼料用米・わら専用稲	助成対象作物が、有畜農家に飼料わら利用された場合
28	耕畜連携（水田放牧助成）	3	10,625	飼料作物	助成対象作物が、水田放牧により利用された場合
29	耕畜連携（資源循環助成）	3	10,625	飼料作物・WCS用稲	助成対象作物を有畜農家に供給し、堆肥の還元をうける取組に支援
30	地域重点作物推進加算(そば二毛作)	2	10,625	そば	基幹作小麦後にそば二毛作の取組に支援
31	地域重点作物推進助成	1	16,347	そば・なたね	作付面積に応じて支援。適切な防除等
32	地域重点作物推進助成(小豆)	1	36,780	小豆	作付面積に応じて支援。適切な防除等
33	地域重点作物推進助成(てん菜)	1	28,607	てん菜	作付面積に応じて支援。適切な防除等
34	自給飼料更新作物助成	1	12,260	自給飼料更新作物 飼料作物優良品種（別紙3-2）	作付面積に応じて支援。排水対策等。
35	地域振興作物助成(露地推進)	1	58,032	白菜・南瓜・キハバ・ア・長葱・人参・ 胡瓜・いちご・メロン・花卉	作付面積に応じて支援。
36	地域振興作物助成(トンネル推進)	1	62,118	白菜・南瓜・キハバ・ア・長葱・人参・ 胡瓜・いちご・メロン・花卉	作付面積に応じて支援。
37	地域振興作物助成(ハウス推進)	1	66,205	白菜・南瓜・キハバ・ア・長葱・人参・ 胡瓜・いちご・メロン・花卉	作付面積に応じて支援。
38	基幹作物助成(露地推進)	1	37,598	別紙3-1の通り	作付面積に応じて支援。
39	基幹作物助成(トンネル推進)	1	41,685	別紙3-1の通り	作付面積に応じて支援。
40	基幹作物助成(ハウス推進)	1	45,771	別紙3-1の通り	作付面積に応じて支援。
41	地域重点作物推進加算(そば・なたね)	1	20,000	そば・なたね	作付面積に応じて支援。
42	新市場開拓用米	1	20,000	新市場開拓用米	作付面積に応じて支援。
43	新市場開拓用米の複数年契約加算（新規契約）	1	10,000	新市場開拓用米	助成対象作物の複数年契約(1年目)に応じて支援
44	地力増進(有機栽培や高収益作物等への転換に向けた土作り)	1	20,000	地力増進作物	土作りを行う地力増進作物の作付面積に応じて支援。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作物を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作物を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。